

コロナ禍における帯ス連主催大会のおさえ

☆前提として

- ①国、北海道の警戒ステージ3以下であること。
- ②国、北海道、日本スケート連盟のイベント（大会）開催の指針に従うこと。

☆全大会共通として

- ①無観客とする。
- ②入場時に検温を行う。
- ③チーム3名までの関係者（監督・コーチ）の入場許可。
- ④各チームの健康チェックシートの記入提出を義務づける。
- ⑤各箇所手指消毒キットを設置する。
- ⑥観客席を選手控え場所とする。
- ⑦1階更衣室（昨年女子控え室）は、更衣室としてのみ使用する。
- ⑧アネックス（旧帯森管理棟）を選手控え場所として開放する（小学生大会を除く）。
- ⑨組み合わせ、速報を掲示せず、web公開とする。
- ⑩大会終了後に、各箇所を除菌・消毒作業を行う。
- ⑪開会式・閉会式・表彰式を行わない。

☆小学生大会として

- ①シングルレースは、一組4人までとする。
- ②予選決勝方式でなく、一大会一人1レース。
- ③帽子ではなく、腕章とする。
- ④一大会で学年を区切って開催する。
- ⑤低学年の靴紐縛りは、各チーム（監督・コーチの他に）2名で行う。
- ⑥小学校1年生のみ、選手1名につき1名の保護者の入場を認める。
- ⑦今季は、「基本全大会休止とし、代替レースを行う」こととする。
- ⑧小学生における各チームとは、実際に活動している少年団単位とし、所属小学校単位ではない。
- ⑨チームの関係者3名および上記⑤・⑥の保護者が大会中に別の人と交代することは認められない。

☆中学生大会として

- ①全レースをダブルトラックレースとする。
- ②リレーは、シングルトラックとする。

☆高校生として

- ①帯広スケート連盟主催大会に準じて行う。